

来年4月から 水戸市が 中学校の給食無償化へ



田中議員が代表質問

子育て支援3つのゼロ
給食費・保育料・医療費無料に

田中まさき議員は十二月議会の代表質問で、子育て世帯の経済的負担の軽減のために、給食費・保育料・医療費の負担をなくす3つのゼロを提案、来年度からの実施を求めました。

「令和5年度から無償化する」市長が答弁

これに対し高橋市長は「中

学生の学校給食費無償化を、令和5年度から実施する」と答弁しました。

日本共産党の江尻かな県議も繰り返し提案し、党市議団は9月議会でも質問し

ていたものです。

田中議員は「全国で学校給食を無償化する自治体が増え続けている。小学生も同時に無償化すべきだ」と求めました。

学校給食無償化に必要な財源は、中学生は3億1000万円、小学生は6億9000万円であ

わせて年間1億円で、水戸市の一般会計予算(1322億円)の0.8%で小中学生の学校給食費を無償化できます。



3つのゼロに必要な財源は？

- ① 給食費ゼロ
中学校 3億1000万円 → 実現！
小学校 6億9000万円
…小中で10億円(市予算の0.8%)
- ② 保育料ゼロ
3歳未満の保育料ゼロ 9億円
- ③ 医療費ゼロ(18歳未満)
医療費マル福完全無料化 2億円
国保均等割ゼロ 2億4000万円
…3つのゼロで23.4億円(市予算の1.8%)

田中議員は、学校給食費に加えて3歳未満児の保育料と、医療費の完全無料化も来年度から実施するよう求めました。

3歳未満児の保育料は9億円で無料化できます。医療費の完全無料化は約2億円、子どもの国保税均等割免除は2億4000万円で負担をなくせます。

保育料無償化 入学準備金も実施へ

市長は「子育てのステージに応じた負担軽減を図るため、保育所利用者負担金(保育料)の無償化、小中学校の入学準備金等の施策案についても、予算編成の中で、子育て世帯にとっての優先度や財源配分等を十分に精査した上で、順次、実施してまいりたい」と答弁しました。



◆しんぶん赤旗(2022年12月15日)



田中まさき
議員



土田きよみ
議員



中庭次男
議員

日本共産党水戸市議団

水戸、中学校給食無償化へ

水戸市の高橋靖市長は12日の市議会本会議で、物価高騰にともなう家計の負担軽減などから、来年度から期限



代表質問する田中まさき議員(13日、水戸市議会)

を設けず市内中学校の学校給食費を無償にする方針を明らかにしました。

日本共産党の田中真己市議が9月議会で無償化を求めていたものの、江尻かな県議も県議選で公約として掲げ、一部が実現しました。市は今後、無償化にあてる予算の財源確

共産党要求実現 来年度から 田中市議「小学校も」

保について検討し、来年4月の一般会計当初予算案に盛り込む方針です。

田中氏は13日の市議会代表質問で、「中学校給食の無償化は大きな前進だ」としつつ、県内をはじめ県庁所在地では青森市で中学校双方で実現しているとして、「小学校も中学校と同時に無償化すべき」と求めました。

市長は「段階的な施策の拡充を図りたい」と答弁。保育所利用者負担金の無償化や、小中学校の入学準備金への支援についても今後検討する考えを示しました。

田中氏は「市の子育て支援を大胆に拡充すべき」と主張し、学校給食の無償化を重視。子ども医療費や保育料の無償化についても強く求めました。

田中議員は12月20日、定例市議会の最終日の採決にあたり、提出された議案29件のうち、新市民会館に関連する議案6件について反対討論を行いました。そのほか萩谷議員（立憲みと）が反対討論、黒木議員（公明党）・後藤議員（魁水戸）がそれぞれ賛成討論を行い、採決の結果、賛成多数で原案が可決、承認されました。以下、田中議員の反対討論の要旨を紹介します。

来年12月 G7 警察トップの大臣会合

3日間で1億円

日本共産党水戸市議団の田中まさきです。

新市民会館に関連する議案6件に反対します。

◆はじめに、議案第95号・令和4年度一般会計補正予算・第8号の市民会館費について、来年12月に新市民会館で行う「G7・内務安全担当大臣会合」のための経費、1010万円の予算に反対します。

この会合の経費は、来年度と合わせて総額約1億円とのこと。県と折半して、市は約5000万円を支出する予定ですが、わずか3日間のためにあまりに高額な支出です。

魅力発信、おもてなしの名目で、主催者の国が負担すべきものまで支出することになりかねません。

しかも今回は、警察組織を担当する大臣の会合であり、日本の代表は国家公安委員長です。宣伝波及効果も、費用対効果も乏しいのではないのでしょうか。

各国の警察トップとその関係者、約200人が来るとなれば、警察組織上げての要人警護、警戒態勢がくまれることになり、市民にとっては交流どころか、交通規制など行動制限の影響が大きくなるものと考えます。



ムダな支出はやめて、市民の暮らしを支えるものに予算を使うべきです。誘致と称して多額の税金を使うことに、市民の理解は得られません。今後繰り返すことのないよう強く求めるものです。

ドイツ製ピアノ…物価高・円安で1.5倍

ピアノ1台3400万円



◆議案第92号、93号、94号は、財産を取得する議案であり、新市民会館で使用するピアノや家具などの備品を購入するものです。通常なら、1台約2200万円のドイツ製「スタインウェイ&サンズ社」のピアノを、来年に1台約3400万円で2台購入する、との説明でした。物価高騰と円安の影響による値上げだとい

いますが、値上げ額が1台1200万円。実に1.5倍も高いタイミングでの購入です。今回の議案は、ピアノが合計5台、ピアノカバーやイス、運搬車のほか、スチール家具も含め、約1億1500万円（1億1462万8987円）の支出です。

このままでは総額8億円の備品購入費も不足することになるのではないのでしょうか。ここでも「最少経費原則」が守られておらず、反対します。

芸術館東側「五軒町立体駐車場」

建設費14億円

◆議案第84号および97号は、水戸芸術館東側の五軒町立体駐車場の管理について、指定管理者を指定し、令和5年度から8年度の3か年で7180万円の指定管理料を、駐車場事業会計の債務負担行為として設定するものです。

この駐車場は、新市民会館のために、地権者を追い出して用地を確保し建設するものです。総事業費は13億9700万円（用地費1億4000万円・建設費12億5700万円）にもなるものであり、認められません。

市長が答弁…伊勢甚の矢板撤去で工事費増

上空通路が6億円超に！

高橋市長は12月12日、新市民会館と京成百貨店を結ぶ上空通路の工事で、新市民会館側の地中に予期せぬ構造物がみつかри、除去のために工事費を追加する旨の答弁を行いました。これは、伊勢甚が所有していた旧京成デパートと道路の境界に残っていた矢板が、建設中の上空通路の支柱とぶつかるというものです。

田中議員は13日の代表質問でこの問題を厳しく批判しました。「水戸市はすでに莫大な移転補償費を伊勢甚に払っている。今回、伊勢甚の所有物の除去のために、さらに数千万円の追加の税金投入することになれば、5億4000万円の上空通路の建設費が6億円を優に超えることになる」と指摘。新市民会館建設をめぐる際限のない税金投入の中止を求めました。

「デマンドタクシーの実現を求める陳情」否決

●新日本婦人の会が提出していた「水戸デマンド型乗合タクシーの実現を求める陳情」が20日の本会議で、採決され、日本共産党市議団以外の議員の反対で否決されました。

●しかし、水戸市が行った市民1万人アンケートでも「超高齢社会で市が力を入れるべきことは？」の質問に対する回答の第1位は「自家用車を使わずに通院・買い物するための支援」が63.1%でダントツです。陳情の否決は市民の願いに反しています。

「攻撃型兵器の購入中止を求める意見書」否決

●日本共産党市議団は、安保3文書の改定は、専守防衛をなげすて、大軍拡・大增税で戦争する国に突き進むものであるとして「憲法を逸脱する攻撃型兵器を購入しないことを求める意見書」を提出しましたが、共産党以外の議員の反対で否決されました。

●「介護保険の改悪中止」「健康保険証とマイナンバーカードの一体化中止」を求める意見書には共産党のほか、立憲みとの2名が賛成しましたが、賛成少数で否決されました。